公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　Kidsたかはら			
○保護者評価実施期間	2025年2月10日	～	2025年3月5日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	19	（回答者数）	19
○従業者評価実施期間	2025年3月10日	～	2025年3月19日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	4	（回答者数）	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・児童指導員や保育士の他に、元教員や塾講師など経験のある学習支援職員を配置しており、学習面のサポートが手厚い。	・宿題のある利用者は、帰ってきてからすぐに取り組む流れとなっており、なるべく帰るまでに終わらせるようにしている。 ・宿題に対して消極的な時は、前向きな声掛けをして励ましながら促すよう工夫している。 ・宿題の後が楽しみな活動となるようなプログラムを組んでいる。	・学習に取り組む人数が増え、勉強するスペースが狭く集中しにくい環境となる時間帯がある。仕切りや部屋の使い方をう、うまく工夫し、より良い環境づくりが必要。
2	・同法人内に入所部門や大人の通所部門などがあり、行事に参加したり、様々な年齢の方々や職員と関わる機会がある。また、敷地内の体育館やグラウンドなどの使用ができ、活動範囲が広い。	・行動できる範囲が広く、行事の時や外のグラウンドでいろいろな人と関わる機会がもてる。集団活動に、交流を持てる内容のものを取り入れることがある。 ・落ち着きたい時や集中したい時に空きスペースを利用して気分転換やクールダウンができる。 ・放デイ終了後に通所する施設の候補としてデイセンターがあり、保護者や施設との橋渡しができる。	・行事などの参加可能なものは保護者にも積極的に呼びかけをして学園全体を知ってもらう機会としたい。 ・対象となる利用者の家族に、デイセンターの見学や説明会などの実施を検討する。
3	・毎日の活動は季節や行事に合わせて、利用者が楽しみつつ様々な体験ができるプログラムとしている。	・集団で行う活動は、目指すところは同じでも個人の特性に合わせた段階のものを準備して行っている。 ・運動系、工作などの芸術系、実験やゲーム、音楽、読み聞かせ、簡単なおやつ作り、○○の日などの行事に合わせた活動などバランスよくスケジュールを組んでいる。 ・長期休業中には外出の予定を立て、学園の外での体験ができるようにしている。	・なるべく新しい経験ができるよう、これまでやったことのない活動も積極的に取り入れていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・地域の方や他施設との交流の機会がない。	・近隣に交流できる施設がない、または機会がない。 ・事業所内だけでも様々な年代の利用者が１０ヶ所程度の学校から集まっていること、同じ敷地の法人内だけでも様々な年代の方達と交流の場をもつ機会があることから、あまり必要性を感じていなかった。	・今後お祭りや季節の行事などの際に、他の放デイと合同でやってみるなど、何かしらの場を作っていきたい。
2	・土曜日の開所をしていない。	・保護者からは土曜日の開所や、今より長い時間の預かり希望がある事を認識しているが、職員の勤務の都合上難しい。	・今対応できる時間内において、保護者の理解や協力を得ながら運営をしていけるようにしていきたい。
3	・保護者への周知不足	・各種マニュアルや法人で実施している訓練や研修についての周知が弱く、保護者も連絡などのやりとりする人が限られがちである。	・周知徹底に力を入れ、様々なツールを利用しながら保護者の理解を深めていきたい。

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	放課後等デイサービス　Kidsたかはら

公表日 令和7年3月31日

利用児童数　20名(１９世帯)　回収数　１９世帯

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	4	1		・人数のわりに部屋が狭いと感じます。 ・外遊びや体育館などたくさん体を動かせていると思います ・我が子の体が大きいので、(癇癪時など)小さい子が心配。	・プレイルーム、勉強スペース、食事スペース、体育館や外など、場面ごとに使い分けをしています。 ・積極的に外や体育館で体を動かす機会を作っています。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	18	1			・忘れ物がないのが助かっています。先生方が声かけなどしてくれているおかげだと思います。	・基準より2名多い職員がいるほか、午後から宿題等を中心に見る学習支援職員が入っています。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	19					
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	19				・季節によってイルミネーションや豆まきなど体験できて嬉しいです。	・毎日の掃除や消毒の他、定期的な衛生チェックが入ることで清潔が保たれています。
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	18	1			・宿題を見ていただけてとても助かっています。	・宿題のある方は、まず最初に取り組む習慣をつけ、なるべく終わらせて帰るようにしています。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	19					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	17			2	・モニタリングでも家や学校での様子や行っている課題に合わせて支援してくれています。 ・「個別支援計画」の目的がよく理解できていない(私が)	・保護者の方に対する説明をより丁寧にわかりやすく実施していきます。
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	18			1	・「個別支援計画」の目的がよく理解できていない(私が)	・保護者の方に対する説明をより丁寧にわかりやすく実施していきます。
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	19					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	15	4			・工作やカラオケやおやつ作りなど子供たちが毎日楽しく行える活動になっていると思います。	・支援職員全員でアイディアを出し合って、毎日の活動プログラムを決めています。より楽しめる活動を提案できるようにしていきます。
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	8	5	3	3	・他の放デイの子どもなどともふれ合う機会があっても良いと思います。	・事業所が離れた場所にある、ということもあり近隣の児童館や他のお子さんとの接点を持つのが難しい状況です。長期休暇中の行事等で機会を持てるか検討していきます。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	18			1		・４カ月に一度、計画の見直しを行っています。モニタリングの際は計画案を示した上で、サインを頂いています。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10	5	1	3		・研修を受けた上で、当事業所規模でのペアレント・トレーニングの実施は難しいと感じています。 ・保護者からの要望や必要と判断した時には個別に面談やアドバイスなどを随時行っています。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	19				・送迎の際、ケガやその日の気分や状態をきちんと伝えてくれます。	・帰りの引渡しの時だけでなく、必要があればその都度ご連絡をしています。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	19				・面談時に家での様子との違いを詳しく説明していただけて助かります。	・事業所と家庭との連携や共通理解が図れるよう心掛けています。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19				・お忙しいのに、手紙を書いて下さったり、電話で相談や質問に丁寧に対応して下さいます。	・できる限り要望等の色々な声に耳を傾け、寄り添える支援を目指しています。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	6	5	4	4	・「はい」にしてしまいましたが、すみません、まだ未参加です。 ・保護者同志の交流の場が欲しいと思います。	・父母の会、または保護者会などの設置予定はありません。 ・以前実施していた兄弟や保護者参加型の行事等について再開、検討していきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	16	1		3	・送迎をして下さって、本当に感謝しています。 ・私がつらい時に救ってくれたKids。心のよりどころです。いつもありがとうございます。	・長く利用して頂いている方に関しては多くのご相談等いただいており、適切に対応出来ていると思います。今後はどなたに対してもその場がある事を周知徹底していきます。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	19					
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	18			1		・Kidsのおたより、活動スケジュール、法人の広報誌をホームページに掲載しています。 ・自己評価はH29より毎年ホームページで公開しています。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	19					

非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	18		1			・保護者の方には「Kids非常災害時の対応」を配布しました。 ・職員は法人の定める各種マニュアルや計画に沿って随時研修や訓練を実施しています。 ・利用者がいる時間帯で行われる避難訓練等については一緒に参加するようにしています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	18			1		・法人の年間計画に基づき定期的に避難訓練を実施しており、放デイの利用者が参加することもあります。また、活動プログラムの中にも防災を意識したものを取り入れるようにしています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	18			1		・事業所または法人の計画等について、保護者への周知を図ります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	18			1		・個別のケースにおいては、すみやかに連絡・説明ができるようにしています。
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	19				・安心しています。 ・こどもが安心できているので親も安心できます。心を開いているのも良い。	・お子さんだけでなく保護者の方にも寄り添った支援ができるよう心掛けていきます。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	18	1			・毎日楽しみにしています。 ・通所を楽しみにしていますし、毎回「楽しかった」と言っています。 ・連休中の遠足や事業所でおやつを買うなど、日中してあげられない体験を色々させてもらえて、嬉しいです。	・集団の中で過ごすにはトラブルがあったり、ルールやマナーを守らなければならなかったりと、必ずしも楽しいことばかりではないですが、今後も「Kidsに来てよかった」と思っていただけるようにしていきたいです。
	29	事業所の支援に満足していますか。	19				・とても満足しています。 ・毎日プリントの課題などに取り組めていて、家では時間をとってあげられていないので、ありがたいです。 ・年齢が上がっても、まだまだ心配が多いので助かっています。様々な活動が楽しみです。 ・先生方には感謝しています。 ・春、夏、冬休みの長期休みの際はもう少し早い時間に受け入れ開始して頂けるとなお良い。	・開所時間の延長に関しては、職員の人数と勤務時間との兼ね合いもあり難しいと考えています。 ・ご相談やご要望の声をもとに、より良いサービスが提供できるよう事業所全体で努めて参ります。

公表　事業所における自己評価結果

事業所名	放課後等デイサービス　Kidsたかはら

公表日 令和7年3月31日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・自由遊び、勉強スペース、食事スペース、体育館やグラウンドなど、場面によって使い分けをしながら支援をしている。	・利用人数が定員を超えている日や、中・高生の利用者が多い時は狭さを感じることがある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	○		・常勤職員は配置基準より多く、午後から入る学習支援職員も毎日勤務している。	・複数の学校への送迎を実施しているため、時間帯が重なる日は職員が十分ではないことを感じる。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・本体建物全体がバリアフリー化されており、車椅子用のトイレもある。 ・部屋入口にピクトグラムの表示がある。	・時間帯によっては同じ部屋を勉強スペースと食事スペースとして使用することがある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎日利用後に清掃・消毒を行っている。 ・定期的に他部門職員の衛生チェックがあり、清潔な生活空間が保たれている。 ・活動に合わせて家具を移動しながら、空間を作っている。 ・工作したもので壁面を飾ったり、活動中の写真を飾って楽しめる空間にしている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・普段使用していない部屋を、気分転換やクールダウン、集中する時のために使用できるようにしている。	・来客や別部門の職員と利用予定が重なる場合は個室が制限される日もある。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		・法人全体の年間計画によりサービスアップ活動を行っており、各部門・事業所・職種等ごとに目標設定や振り返りを実施している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎年の結果を基に、できるところから改善に努めている。これまでにおたよりの配布を開始、「非常災害時の対応」作成、おたよりとスケジュール表をHPへ公開、などを実施している。	・近い場所に他の施設や学童、学校等がなく地域交流ができる環境とは言い難い。しかし、さまざまな学校(現在９校)から小・中・高の年代が集まり交流を持っている。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・毎月実施している会議で意見を出し合っている。毎日ミーティングを実施。 ・人数が少なく出勤時間帯がほぼ同じことから、ちょっとしたことでも意見交換がしやすい。なるべく皆の意見を聞いてから様々な決定をするようにしている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		・実施していない
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人全体での様々な内部研修が行われる他、外の研修への参加も奨励される環境にある。学校公開にも機会があれば積極的に参加している。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・法人ホームページの６年度分「情報公開」に掲載済	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・４カ月に１度個別支援計画の見直しを行っており、その都度保護者から要望や意見を聞き取って反映できるよう努めている。職員同士・相談支援員等とも情報共有しながらニーズや課題を分析し、作成している。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・計画作成の際は、事業所職員全員と地域事業部長が出席する個別支援会議を行い、会議後は学習支援職員にも資料を回覧した上で補足等を行い情報共有を図っている。なお、計画作成の際は事前に学習支援に関わる職員にも意見をもらった上で検討することとしている。	・会議に出席していない学習支援職員に、資料回覧等で十分な理解を求めるのは難しい面もあり、より丁寧な説明が必要と感じている。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	○		・会議で決まった個別支援計画を皆が忘れずに共有できるよう、支援目標をまとめた資料を作成したり、担当している職員がそれぞれに周知を図ったりしながら、皆で統一した支援ができるよう努めている。	

適切な支援の提供	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・事業所で必要とする情報を得られるアセスメントシートを作成し、使用している。 ・日々の活動の様子については、利用日毎にPC入力し毎月育成経過記録表としてまとめている。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・特に今年度は報酬改定後で見直しするポイントが多くあったため、本人や家族の状況に応じてガイドラインに沿った支援ができるよう、職員間で検討を重ねた。 ・ひとりひとりの状況や学年等にあわせた支援となるよう配慮した。	・今年度作成したものを基本として、必要なタイミングで本人や家族の状況などにあったものに見直しをかけて、より良いものにしていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・毎月スケジュール会議を行い、皆で意見や案を出し合って作成している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・平日と長期休暇など事業所に滞在する時間の違いや、その季節に行う行事に合わせて様々な体験ができるよう工夫している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・日々の利用人数や下校時刻、滞在時間等にあわせて個別活動と集団活動を実施している。 ・学校の宿題がある方については、なるべく先に終わらせてから全体活動にも参加できるように配慮している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・朝のミーティングで当日の動きや引継ぎ事項などの確認を行っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い､気付いた点等を共有しているか。	○		・利用者の帰宅と自宅への送り終了後に当日あったこと、変更事項や周知が必要なことなどの報連相を行い、情報共有を図っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・その日の利用者全員について、必ず日誌を打つことを基本としている。 ・日々の日誌を月ごとにまとめ、育成経過記録として様々な機会に見返し、役立てている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・４カ月ごとに保護者とモニタリングを行い、家庭や学校での様子などの現状把握をしながら必要な支援を見直し、支援計画を立てている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	○		・自立支援、日常生活の充実、創作活動、余暇の提供など、全体で行う活動の中にうまく組み込みながら利用者が様々な体験ができるよう支援している。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・活動の中で利用者が自ら選択する機会を提供し、できる限り意思を尊重している。 ・リクエスト活動など、利用者がやりたいことを事前に選んで実施する日がある。 ・写真や絵などを提示して、その中から選ぶなど視覚的にわかりやすい工夫をしている。	
関係機関や保護者と	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・基本的に児童発達支援管理責任者が事前に職員全体から情報を集めた上で参加している。	・会議の時間など都合が合えば、担当職員が出席し、より多くの意見を交わしながら経験と知識を積む機会としたい。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		・必要に応じて関係機関と連携をとれる体制はできている。特に重点的に支援が必要とされるケースについては、連携機関と定期的に情報共有を行っている。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・学校からのおたよりやお知らせメール、下校時刻表などの提供を受け、必要な連絡を取り合いながら情報共有や連絡調整を行っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・つながりがあり、連絡ができる事業所については直接情報共有を行っているが、基本的には保護者や相談支援員を通じての情報共有となっている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・保護者や学校、移行先からの希望があれば随時情報提供できる。これまで法人内での移行については資料作成し引継ぎを行っている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	○		・近隣にあるセンターが主となって実施している研修には積極的に参加している。	・市内にセンターがなく、近隣のセンターと関わる機会も少ないが、必要があれば積極的に助言を求めるなどしていきたい。

の連携	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		○		・事業所の近くに対象となる施設がないことから、機会を持つことが難しい。長期休業中などに他の放デイと合同で行事などが出来ると良い。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・法人内の職員が参加しているため情報を得られているほか、管理者が下部組織である「子ども部会」に委員で参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・毎回、利用後にその日の様子を伝えており、気になる事があればすぐに直接または電話などで情報共有している。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント･トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○		・実施のための研修を受けた結果、正式な形でのペアレント・トレーニングは自事業所での実施は難しいと判断。今後は家族が参加できる行事や様々な情報提供を図っていきたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		・新規契約の際に丁寧に説明を行っている。また、変更があった場合はその都度お知らせしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・利用者は日々の支援での様子から、保護者はモニタリングや利用後のやりとりから要望や意向をすくい上げ、本人にとって必要なことが何かを常に考えるようにしている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	○		・新しい個別支援計画書を作成する機会ごとに保護者に説明した上で、同意を得ている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・必要に応じて相談や話し合いの時間を作り、話しやすい環境づくりと心に寄り添うような対応を心掛けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。		○		・保護者会などの設置予定はないが、今後はきょうだいや家族が一緒に参加できるような行事で交流する機会を作りたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情にならないよう予防に努めているが、そうなった場合は迅速かつ丁寧な対応を行いたい。 ・苦情対応の体制整備については、契約の際に説明をしている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月のおたよりに活動の様子をのせており、スケジュール表を保護者に配布しているほか、それぞれをホームページ上でも公開している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・同意書に記載された範囲内で使用している	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・絵カードやマカトンサインなどを用いて、視覚から活動内容や支援について理解しやすいよう工夫と配慮している。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		・事業所単位では実施していない。 ・法人全体での行事には地域住民を招待するものがあるが、ここ数年はできていない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・法人で策定したそれぞれのマニュアルに基づき、研修や訓練を実施している。 ・事業所単位では、「Kids非常災害時の対応」を作成し、保護者に配布した。	・保護者に対する説明が十分とは言えず、お知らせなどで周知を図っていきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・法人全体でBCP について検討し、Kidsは法人本部の所属として策定済み。 ・定期的な避難訓練のほか、事業所ごとに研修を実施した。	・BCPについては今後も内容を見直しながら、さまざまな訓練を重ねていきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		・利用開始時のアセスメントで保護者から情報を得ている。成長とともに、随時変更があれば状況確認を行っている。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・医師の指示書を提出された事例はないが、保護者からの聞き取りや検査表の提出にあわせて対応を行っている。	・エピペンを所持する利用者については、所持や管理の確認を怠らないように気を付けたい。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全には十分配慮し、研修等も行い、事故やケガのないように支援を行っている。	・安全計画については今後さらに内容を検討し、訓練も含め実状に見合うより良いものにしていきたい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。		○		・ご家族に対しての周知ができていないため、今後お知らせなどで図っていきたい。

	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・法人内で事例が回覧され、再発防止の情報共有がなされている。 ・ファイリングしたものを事例集として活用できるようにしている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止委員会で全職員に向けた研修のほか、年２回のセルフチェックシートと虐待防止だよりの回覧などが実施されている。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・やむを得ず行う時は身体拘束適正化委員会が定めた流れで実施することとなっており、現在対象となる利用者はいない。	・虐待防止研修と同様に全職員に対する研修を実施している。必要な場合は説明・記載等を行う。